



S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のワークショップが11月13日に開催されました。11名の方が参加し、10月のイベントのふりかえりや自走に向けた今後の活動について話し合いました。このレポートでは当日の様子をご紹介します。

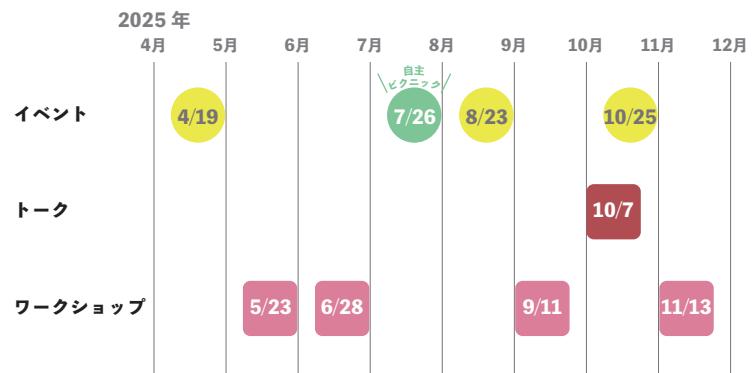
ポットラックプロジェクトって？

自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。
小さくはじめる、日常の公園あそび。

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023年度から3年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の3つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返し行うことで、一過性ではない、新いつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんのが普段の生活で愛用しているもの、やつてみたいと思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



2025年度のすすめ方



無理なくイベントを開催したり、集まることができるよう話し合って決めた今年度の活動予定です。イベント前後に、準備会やふりかえり会をこまめに開催しながら今年度の取組を進めていきます。

ワーク ショップ!

イベントをふりかえり、 自走に向けた今後の活動を考えよう

STEP 01

10月のイベントをお試ししてみて「よかったこと」、「気になったこと」、「今後やってみたいこと」をふりかえりました。当日は雨天で中止となったプログラムもあったため、12月14日(日)に再度開催することが決まりました。次回に向けて、イベントの流れやプログラムをブラッシュアップしました。



よかったこと

- 雨天で焚き火ができなかったが、ガスコンロだけでも十分楽しむことができた
- 雨天でも、多くの子どもたちが参加し、プログラムも滞りなく運営できた

気になったこと

- ものづくりや工作において、紐を結ぶなどの細かい作業は、一部の子どもたちにとって難しい様子があった
- 雨天で縮小開催だったが、もし1チームで2プログラム実施していた場合、対応できたか不安な点があった（思ったよりも人手が必要だった）

今後やってみたいこと

- これまでイベントを開催したことがない日曜日に開催し、これまで出会ったことがない新たな人とも交流したい
- 焚き火などは、安全面を考慮して、日が暮れないうちに片付けを終了させたい

STEP 02

次に、今後に向けて活動を自走していくための話し合いをしました。ここでは、決まったことを紹介します。

大切にすること

- まずは自分たちが愉しみながら活動する
- 公園を活動前よりキレイにする

準備会などの定例会について

- 定例会は、毎月第3木曜日の夜に開催する

ポットラックピクニック（イベント）について

- 年間予定表をつくる
- 恒例のプログラムを含めた大規模なイベントを年2回開催しながら、ゆるく小規模なイベントも開催する
- これまで実施したことがないプログラムに挑戦しながら、恒例のプログラムも継続して実施する
- クラブハウス1階活動拠点を使いこなしたプログラムに挑戦する
- これまでのイベントでプログラムを実施した経験があるメンバーに、また参加してもらえるよう声掛けをする
- プログラムの実施時間は、メンバーそれぞれの状況に合わせて実施する（短時間でも可能）

活動を伝えるツールについて

- 持ち歩きやすい横開き名刺に、活動の簡単な紹介文と公園での活動写真を複数枚掲載する
- ポットラックマガジン（A4見開き）を市内の飲食店をはじめとする各所へ配架する

LINEの運用について

- ポットラックプロジェクトに参加経験のあるメンバーとの連絡用に使用していたLINEオープンチャットは、今後、羽村市土木課やstudio-Lとのやりとり、活動への参加をメンバーに広く呼びかけたい時に活用する
- ポットラックピクニック参加者向け情報発信媒体である公式LINEでの配信は終了し、今後の主な情報発信媒体はInstagramになることを案内する

